

北区日中会報

発行日
平成24年1月1日
第33号

編集 北区日中友好協会広報
発行 北区日中友好協会
東京都北区王子2-14-17
丸山事務所内 TEL03-3911-2381

2012 迎春



花川與惣太会長

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平成23年3月11日、三陸沖を震源とした東北地方太平洋沖地震は東北地方を中心に甚大な被害を与えました。被災者の皆様にはあらためてお見舞い申し上げます。また、被災者に対し中華人民共和国より多大な支援があり北区日中友好協会としても御礼を申し上げます。

さて、昨年の北区日中友好協会の活動は2月の春節餃子パーティーで始まりしました。一昨年より新装なった王子小学校内の王子ホールで約200人の参加者を得て盛大に開催されました。残念ながら、4月の日中友好スポーツ交流は東日本大震災の影響で中止といたしました。6月の総会、9月の講演会、10月の区民まつり、11月の日中友好バスハイク等の恒例行事は例年のおり実施、多くの中国の方と友好交流を促進してまいりました。なお、北区は昨年11月、宣武区と合併した新しい北京市西城区との間で「日本国東京都北区と中華人民共和国北京市西城区との友好交流・協力関係締結に関する合意書」を締結し、友好交流はさらに深めることといたしております。

平成24年は日中国交正常化40周年を迎えます。国、地方ともに様々な行事が予定されていますが、北区日中友好協会は例年にも増し、充実した活動を展開してまいります。そして、さらに多くの方々にご参加いただけるよう、様々な機会をとらえ、各方面に働きかけるとともに、北区の友好交流事業に積極的に参加、協力をし、中国との友好交流事業について理解を深めていただけるよう尽力してまいりたいと存じます。

2012年は、国内においては東日本大震災からの復旧復興、長引く景気低迷からの脱却などの課題が、また海外においてはユーロ不安などの難題が山積しています。このような時期にGDP3位の日本と2位の中国が協力していくことは誠に意義深いこととあります。本会の活動は日本と中国の交流を市民のレベルで進め、両国の友好関係を市民レベルで支え発展させていくものと確信しております。つきましては、以上の趣旨に則った行事等を企画し、皆様にご案内申し上げます。ご理解とご協力を切に願う次第でございます。

新年が皆様にとって幸多き年であることをお祈り申し上げます。

日中友好バスハイキング

北区日中恒例の友好バスハイキングが去る11月23日、日本人10名、中国人26名、合計36名の参加を得て実施された。風邪などで直前にキャンセルが多く、補助イスを使わずに余裕の出発。天気予報は芳しくなかったが、まずまずのお天気。今回は初参加者が多く、出発からしばらくは緊張の様子であったが、全員の自己紹介が終わる頃には和やかな雰囲気。最初の休憩所を出たところで、恒例のビンゴ大会が始まったが、途中の車窓から見える富士山に感動したのも最初だけ、後は「花より団子、富士よりビンゴ」状態に。1等を当てた当会役員が景品の電気敷き毛布をジャンケン大会に提供、勝ち取ったのは先ほどの休憩所のトイレにiPhoneを置き忘れてきた中国人女性。本人は「日本だから絶対戻る」と信じていた



とのことだが、iPhoneも無事管理事務所に届いたとの連絡があり、強運の持ち主に大きな拍手が送られた。最初の目的地、芦ノ湖に到着し海賊船に乗船、心地よい風を受けながら、初対面同士でも歓談したり、記念写真を撮ったりと、交流を深める光景があちこちで見られた。昼食は箱根富士屋ホテルのバイキ

ング。おいしい料理に何枚もお皿を重ねる大食漢も。残りの自由時間にはホテルの露天風呂に入浴するグループも。帰京の途中、小田原の老舗かまぼこ店でのショッピングを終え、車中のカラオケタイムも渋滞もなくスムーズな車の流れに時間が短く、午後4時半には無事帰着した。

区民まつりが開催される 国際ふれあい広場で北区日中も協力

去る10月1日、2日の両日、第28回北区区民まつりが、赤羽会場、滝野川会場、飛鳥山会場の三会場で開催された。初日は天気心配されたが幸い好転し多くの区民が各会場に訪れた。また、1日夜の王子会場S-GATEも例年より時間が短縮されたとはいえ、パフォーマンスは充実し、多くの方が秋の夜の

一時をお酒とともに楽しく過ごしていた。北区日中友好協会の有志がお手伝いする王子会場の国際ふれあい広場は今年で20年目を迎え、例年と同様、各国の料理を提供するテントには行列ができるほどで、衣類・民芸品が展示販売されているテントにも品定めをするお客で終日混雑していた。また、おも

ちゃを展示したコーナーでは親子で興じる姿が見られ、毎回好評のバンブーダンスは今年も子供達の独壇場、お手伝いの北区日中のメンバーは例年なら足腰をさすりながら子供達の相手をしていたが、昨年からの飛鳥高校の生徒さんにも協力いただき、大いに助かっている。謝々。

北区日中友好協会 講演会を開催

本会では去る9月20日、昨年が辛亥革命100周年に当たることから「孫文と梅屋庄吉を語る」と題し、梅屋の曾孫にあたる小坂文乃氏（日比谷松本楼常務）を講師に招き、講演会を開催した。翌日に台風上陸を控えた東京も次第に雲行きが怪しくなり始めたが、会場の北とびあ研修室に70名が参加した。孫文と梅屋との関係については梅屋本人が「一切口外してはならず」と遺言したこともあり、最近まで、多くを知られていなかった。写真、映画事業で財をなした梅屋は孫文の理想に共鳴し、「君は兵を挙げたまえ、我は財を挙げて支援す」との盟約を交わした後、生涯をかけて孫文のみならず、多くの関係者を支援し、しかも何一つ見返りを求めなかったという。明治維新をモデルに西洋列強から中国を守るために清朝を



倒し、辛亥革命を遂行したが、「未だ革命ならず」の言葉を残し亡くなった孫文の偉業を後世に伝えるために梅屋は4体の孫文像を南京などに贈ったという。こうした梅屋を支えたトク夫人は孫文と宋慶齡との間も取り持ち、二人の結婚披露宴も梅屋邸で行われたという。講演前半の緊迫した革命前夜の話か

ら後半は二人のロマンス話となり、聴衆も知られざる秘話に引き込まれた様子であった。最後に辛亥革命100周年を記念して孫文と梅屋夫妻の銅像を中国国务院が梅屋の故郷の長崎県に贈るとの申し出があったことが小坂氏から伝えられると会場からは大きな拍手が送られた。

中国語講座 2012年秋季講座が終講

平成23年度秋季中国語講座は12月に終了した。入門コースは18名で9月13日、初級コースは15名9月15日より開講した。今回の中国語講座は14回目を迎えリピーターの方も含め、それぞれ10週の講座としてスタートした。入門コースは発

音や声調から始まる初心者向けで簡単な会話と自分の名前などを中国語で表現できるまでを目標とし、初級は会話を中心とし発音や声調も復習するカリキュラムで進めてきた。来年は春季と秋季の2回、開講の方向で検討しており、春季の詳細は3月の北

区ニュースなどを通じてお知らせする予定。コースは従来と同様、入門コースと初級コースの2コース。尚、講座は14回を経過していることから、これまでの反省に基づき次回よりPRの仕方も含め様々な工夫をして魅力ある講座にしていきたい。

行事のお知らせ

春節餃子パーティー 1月29日に開催

北区日中では恒例行事の中心である春節餃子パーティーを1月29日（日）王子小学校内の王子ホールで開催いたします。詳しくは同封の案内でお知らせいたしますが、飲み物もたくさん用意し、またビンゴゲームなど楽しい企画を準備しております。皆様の参加をお待ちしております。パーティーから参加する方は12時までには会場にお集まりください。餃子作りをお手伝いしていただける方は9時より開場しておりますので、よろしくお願ひします。調理器具はすべて用意してあります。

尚、調理を進める中で着衣が汚れる場合があります。汚れては困る方はエプロン前掛けなどを準備ください。会費は日本人2千円、中国人千円となります。

友好スポーツ交流会 4月22日 滝野川体育館で

北区及び東京都日中友好協会と北区日中友好協会の共同主催による友好スポーツ交流会が、滝野川体育館で4月22日(日)に開催を予定しております。これまで友好スポーツ交流は毎年多くの方々に参加の中、盛大に開催され、バレーボール、卓球、バトミントン等を中心に楽しんでいただきました。また、小さなお子様の遊び場所もあり、今年も多くの方々に参加いただけるよう準備中です。詳細はまもなく決定いたしますので、後日、東京都日中友好協会のホームページおよび北区日中友好協会より各位にご案内いたします。

西城区との友好交流・協力関係を推進

冒頭の会長挨拶でも触れておりますが、昨年11月、北区は北京市西城区と「日本国東京都北区と中華人民共和国北京市西城区との友好交流・協力関係締結に関する合意書」に署名いたしました。西城区は北区が平成5年に合意書を取り交わした旧宣武区と旧西城区が合併して平成22年に誕生しています。今回の合意書により、引き続き文化・教育・スポーツなどの分野を中心に友好交流・協力関係を深めていくことになりました。

西城区は北京市中心城区の西北部に位置し、北は海淀区、東は東城区、南は豊台区に接しています。区内には人民大会堂など中国の重要機関が集中し、中南海、北海公園、西単の商業地区、中国銀行ビルなどがある北京金融街、北京動物園などの所在地でもあり、数多くの文化遺産もあり、首都北京市の政治・経済・文化の中心区です。人口は134万人、面積は50.7km²。

東日本大震災への支援ありがとう

昨年3月11日午後2時46分、宮城県牡鹿半島の東南東沖130kmの海底を震源とするマグニチュード9の観測史上最大の地震に見舞われ、東北地方、関東地方に甚大な被害をもたらし、多くの犠牲者をだしました。この被害に対して世界各国より支援の手が差し延べられ、お隣の中華人民共和国よりも多大な支援が寄せられました。今後復興が進められていきますが、これらの支援は必ず復興の力となるものと確信しております。北区日中友好協会としても支援いただいた各国に対してお礼を述べたいと思います。